

趣旨

科研費を中心とする学術研究助成の在り方全般について、学術研究の現状や、学術・科学技術を取り巻く社会的情勢等を踏まえつつ、一定の方向性が得られた事項について取りまとめたもの。

主な内容

1. 学術研究助成に関する基本的考え方

- 学術研究への継続的な支援は、将来における学術のブレークスルーやイノベーションの芽を絶え間なく育むこと。国民の負託を受け学術研究に従事する者は、社会の要請や課題を十分に認識した行動が求められる。研究の発展段階に応じた研究成果を次のフェーズに適切につなげていくための取組が、今後ますます重要。
- 科研費は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、萌芽的な段階から学術研究を支える、他の政策手段にはない大きな役割。研究現場の機能発揮のためには、科研費の拡充はもとより、基盤的経費の確保、プロジェクト研究経費への間接経費措置や研究大学強化促進費の拡充等、研究環境改善のための支援が必要。

2. 科研費による研究活動の論文生産性等

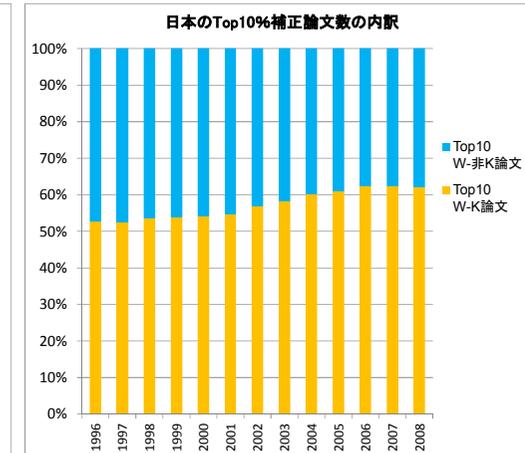
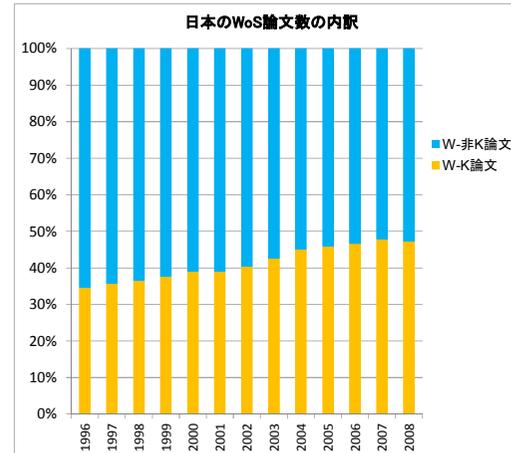
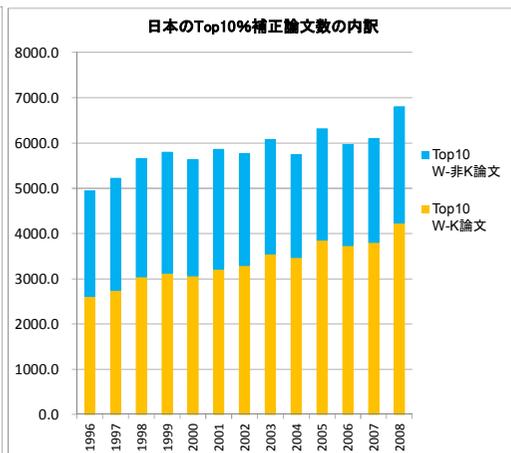
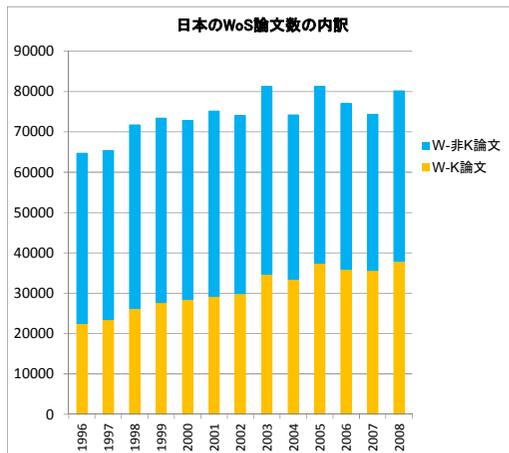
- Web of Scienceと科学研究費助成事業データベース(KAKEN)との論文情報のマッチング(1996-1998年と2006-2008年の3年移動平均の比較)等による分析結果等に基づき検討した結果、科研費は我が国の論文産出における量及び質の両面で大きな役割を果たしており、予算額の増加に対応して増大傾向。全体として科研費による研究成果は着実に上がってきている。
- 研究種目ごとの論文産出状況は、各種目の趣旨・目的が反映されており、制度の枠組みは十分機能。
 - ① 採択件数の多い種目は、論文の産出数や研究費当たりの論文数が多い。
 - ② 質の高い論文の割合は、研究費規模の大きい種目ほど高い傾向。
 - ③ 「若手研究」は同規模の「基盤研究」等より質の高い論文の割合が高い。
- 論文産出が伸び悩んでいるのは主要国で我が国のみである要因として、投資額の伸びが主要国に比べ過小。論文との相関性が高いと考えられる政府負担研究費の割合も低水準。大学の基盤的経費の論文産出への影響が極めて大きいことに十分留意する必要。研究費の偏在緩和やプロジェクト経費への間接経費の措置等も必要。

【参考】科研費の成果—論文数の推移

- 我が国における科研費が関与した論文数及び被引用度トップ10%論文数は1990年代後半から2000年代後半にかけて増加傾向。
 - 我が国の論文数(Web of Science掲載)に占める科研費が関与した論文数の割合は、
 - ①1990年代後半の35.7%から2000年代後半には47.3%へ上昇するとともに、
 - ②我が国の被引用度トップ10%論文数に占める科研費が関与した被引用度トップ10%論文数の割合は、53.1%から62.4%へ上昇。
- 日本の論文産出活動の量及び質の面において科研費の役割が大きくなっている。

【科研費論文数及び被引用度トップ10%科研費論文数】

【我が国の論文数に占める科研費論文の割合】



W-K論文数

1996-1998年 24,057本 → 2006-2008年 **36,529本**
(約1.5倍)

**W-K被引用度
トップ10%論文数**

1996-1998年 2,798本 → 2006-2008年 **3,922本**
(約1.4倍)

**WoS論文に占める
W-K論文数の割合**

1996-1998年 35.7% → 2006-2008年 **47.3%**

**WoS被引用度トップ10%論文に占める
W-K被引用度トップ10%論文数の割合**

1996-1998年 53.1% → 2006-2008年 **62.4%**

WoS論文 : Web of Scienceデータベースに収録されている論文

W-K論文 : WoS論文のうち、科学研究費助成事業データベースに収録されている、科研費による論文

W-非K論文 : WoS論文のうち、科研費による論文以外の論文

3. 科研費において当面講ずべき制度・運用改善方策

(1) 研究活動の国際化の進展に対応した科研費の在り方

- 外国人研究者の来日当座の支援として「研究活動スタート支援」の周知と新規採択率向上。応募手続上必要なウェブ入力関連部分も英訳併記等。毎年度提出が必要となる研究実績報告書等での英語記入許容。
- 科研論文における国際共著率を高める方策について、多面的な検討が必要。

(2) 若手研究者の更なる活躍を促すための科研費の在り方

- 特別研究員(PD)に他種目への応募・受給を可能化、「特別研究員奨励費」にも間接経費を措置。
- 「若手研究(A)」や「研究活動スタート支援」の新規採択率を向上

(3) 新研究分野支援のための科研費の在り方

- 分科細目表の見直し時期を柔軟化(従来は基本的に5年ごと)
- 時限付き分科細目に係る課題(小規模、重複制限、2段審査等)を改善した形で、「基盤研究(B・C)」に新たな審査区分として「特設分野研究」を導入。当該分野に関心を持つ関係者間の交流も推進。
- 異分野連携・融合の観点から細目の在り方等について抜本的見直しが必要との意見もあり、引き続き検討。

4. 研究者倫理教育

- 研究上の不正行為(ねつ造、改ざん、盗用等)について、諸外国では研究者倫理教育を重視傾向。第一義的には、学協会や所属研究機関が果たすべき役割だが、資金配分機関としても、先進的取組状況等を踏まえつつ、①各研究機関における履修の科研費支給条件化、②研究者倫理教育等に係る体制整備の機関管理要件化等について検討すべき。その際、分野や文化による違い、研究現場の負担軽減や若手のチャレンジング精神に配慮。

○謝辞 (Acknowledgment) の記載について

○科研費により得た研究成果を発表する場合は、科研費により助成を受けたことを必ず表示してください。

○謝辞 (Acknowledgment) に、科研費により助成を受けた旨を記載する場合には、**「MEXT/JSPS KAKENHI Grant Number 8桁の課題番号」**を必ず含めてください。

- ・文部科学省から交付を受けた科研費の場合：
MEXT KAKENHI Grant Number 8桁の課題番号
- ・日本学術振興会から交付を受けた科研費の場合：
JSPS KAKENHI Grant Number 8桁の課題番号

この記載方法を必ず守ってください。

○謝辞 (Acknowledgment) の記載例は次のとおりです。

- ・論文に関する科研費が一つの場合（課題番号「12345678」）

【英文】: This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number 12345678.

【和文】: 本研究はJSPS科研費 12345678の助成を受けたものです。

- ・論文に関する科研費が複数（三つ）の場合
（課題番号「23456789」「34567890」「45678901」）

【英文】: This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Numbers 23456789, 34567890, 45678901.

【和文】: 本研究はJSPS科研費 23456789, 34567890, 45678901の助成を受けたものです。

○科研費ロゴタイプについて

科学研究費助成事業について広く社会に伝え、より一層国民からの理解を得るために



科研費による研究成果を研究機関のホームページで公開する際や、学会、シンポジウムでの発表、または報道発表をする際などに、積極的に使用してください。

科研費ロゴタイプ

○文部科学省ホームページ : http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1321563.htm

○日本学術振興会ホームページ : http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06_jsps_info/g_120612/index.html

○各大学・研究機関にお願いしたいこと(1)

◆ 基金化、調整金など、科研費の使い勝手向上策のメリットが生きるような会計制度等の運用

- 今年度から導入した、「調整金」や「国庫債務負担行為」に対する理解を深めていただき、所属の研究者にも従来の制度との違いについて適切な周知を行い、より効果的な運用を行っていただきたい。
- また、基金化した種目については、その趣旨を活かし、単年度会計主義の意識にとられない経理管理をお願いしたい。
- 平成24年度から複数の科研費やその他の経費の合算による共用設備の購入が可能となっている。各機関において、研究基盤の整備と科研費の効率的な使用を図っていただきたい。

【留意点】

- ・設備購入に係る各研究者の負担額の割合を適切に定める。
- ・設備の共用に関し機関内でルールを定め、組織として適切に管理・運用する。
- ・研究機関内で共有設備に関する情報を共有し、設備の有効活用が図られるようにする。

※運営費交付金など使途に制限のない経費を加えて、複数の科研費による合算額以上の設備の購入も可能

○各大学・研究機関にお願いしたいこと(2)

◆ 研究費の不正使用、研究活動の不正行為の防止のための取組

○ 研究費の不正使用等の防止に向けては、これまで、国の定めたガイドライン等に則り、各機関においても様々な取組を実施。しかしながら、不正使用は根絶されておらず、**昨年度、不正使用等を行った研究者に対する応募資格の制限を厳罰化、適正化**したところ。



○ 改めて科研費使用ルール等を周知するとともに引き続き、不正使用の防止に向け、機関管理や納品検収を徹底するなど積極的な取組を行っていただきたい。

○ また、研究上の不正行為についても、その根絶に向け、機関として研究者倫理の向上のための取組を行っていただきたい。

○平成25年度科研費(補助金分・基金分)配分状況一覽(新規)

平成25年4月現在

研究種目	研究課題数			配分額	1課題あたりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
科学研究費	件 〔 86,874 〕 91,626	件 〔 24,673 〕 25,151	% 〔 28.4 〕 27.4	千円 〔 56,640,420 〕 55,977,606 【 16,686,450 】	千円 〔 2,296 〕 2,226	千円 〔 34,400 〕 28,800
	特定領域研究 *1 〔 9 〕 2	〔 9 〕 2	〔 — 〕 —	〔 25,400 〕 5,952	〔 2,822 〕 2,976	〔 3,000 〕 3,000
	新学術領域研究 *2 (研究領域提案型) 〔 2,822 〕 5,398	〔 712 〕 1,191	〔 25.2 〕 22.1	〔 2,596,900 〕 3,885,300 【 1,165,590 】	〔 3,647 〕 3,262	〔 10,000 〕 9,000
	基盤研究(A) 〔 2,251 〕 2,300	〔 535 〕 541	〔 23.8 〕 23.5	〔 6,985,500 〕 6,787,100 【 2,036,130 】	〔 13,057 〕 12,545	〔 34,400 〕 28,800
	基盤研究(B) *3 〔 9,875 〕 10,205	〔 2,440 〕 2,523	〔 24.7 〕 24.7	〔 13,200,800 〕 13,400,400 【 4,020,120 】	〔 5,410 〕 5,311	〔 13,300 〕 13,800
	基盤研究(C) *4 〔 32,899 〕 33,871	〔 9,857 〕 10,127	〔 30.0 〕 29.9	〔 15,332,520 〕 14,669,300 【 4,400,790 】	〔 1,555 〕 1,449	〔 3,800 〕 3,700

○平成25年度科研費(補助金分・基金分)配分状況一覧(新規)(続き)

研究種目	研究課題数			配分額	1課題あたりの配分額	
	応募 件	採択 件	採択率 %		平均 千円	最高 千円
科学研究費				千円	千円	千円
挑戦的萌芽研究 *4	[12,559] 13,865	[3,759] 3,582	[29.9] 25.8	[5,692,800] 5,426,100 【 1,627,830 】	[1,514] 1,515	[3,100] 3,200
若手研究(A) *3	[1,796] 1,779	[399] 394	[22.2] 22.1	[3,243,100] 3,054,500 【 916,350 】	[8,128] 7,753	[19,700] 19,200
若手研究(B) *4	[20,867] 20,330	[6,255] 6,079	[30.0] 29.9	[9,213,500] 8,398,800 【 2,519,640 】	[1,473] 1,382	[3,400] 3,300
奨励研究	[3,796] 3,876	[707] 712	[18.6] 18.4	[349,900] 350,154	[495] 492	[800] 800
研究成果公開促進費 *5	[961] 1,031	[491] 437	[51.1] 42.4	[1,029,060] 939,600	[2,096] 2,150	[20,000] 12,700
合計	[87,835] 92,657	[25,164] 25,588	[28.6] 27.6	[57,669,480] 56,917,206 【 16,686,450 】	[2,292] 2,224	[34,400] 28,800

(注1) []内は、前年度を示す。

(注2) 【 】内は、間接経費(外数)。

(注3) *1は、平成25年度の新規・継続領域に係る公募はなく、平成24年度に設定期間が終了した研究領域の取りまとめのみが公募対象。

(注4) *2は、平成25年度の新規領域については審査中であるため、継続領域の新規課題のみ計上。

(注5) *3は、一部基金化研究種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には平成25年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注6) *4は、基金化研究種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には平成25年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注7) *5は、「国際情報発信強化(A)」及び「オープンアクセス刊行支援」は審査中であるため、「研究成果公開発表」、「国際情報発信強化(B)」、「学術図書」、及び「データベース」に対する配分額を計上。

(注8) 「特別研究促進費」及び「特定奨励費」は除く。

○平成25年度科研費(補助金分・基金分)配分状況一覧(新規＋継続分)

平成25年4月現在

研究種目	研究課題数			配分額	1課題あたりの配分額	
	応募 件	採択 件	採択率 %		平均 千円	最高 千円
科学研究費	[130,324] 137,141	[67,961] 70,551	[52.1] 51.4	[155,012,892] 156,964,950 【 46,982,653 】	[2,281] 2,225	[159,200] 165,000
特別推進研究 *1	[59] 58	[59] 58	[—] —	[4,571,600] 4,175,700 【 1,252,710 】	[77,485] 71,995	[159,200] 165,000
特定領域研究	[117] 2	[117] 2	[—] —	[882,500] 5,952	[7,543] 2,976	[42,000] 3,000
新学術領域研究 *2 (研究領域提案型)	[4,842] 6,984	[2,732] 2,775	[56.4] 39.7	[21,045,350] 21,127,434 【 6,338,230 】	[7,703] 7,613	[135,400] 124,000
新学術領域研究 *3 (研究課題提案型)	[1] —	[1] —	[—] —	[3,869] — 【 — 】	[3,869] —	[3,869] —
基盤研究(S) *1	[348] 352	[348] 348	[—] —	[9,229,300] 9,481,300 【 2,844,390 】	[26,521] 27,245	[87,900] 73,900
基盤研究(A)	[3,784] 3,900	[2,054] 2,127	[54.3] 54.5	[18,888,800] 19,041,512 【 5,712,454 】	[9,196] 8,952	[34,400] 28,800
基盤研究(B) *4	[15,837] 16,091	[8,358] 8,378	[52.8] 52.1	[32,515,800] 32,543,900 【 9,763,170 】	[3,890] 3,884	[13,300] 13,800
基盤研究(C) *5	[51,301] 54,147	[28,211] 30,377	[55.0] 56.1	[31,815,351] 34,848,524 【 10,454,557 】	[1,128] 1,147	[3,800] 3,800

○平成25年度科研費(補助金分・基金分)配分状況一覧(新規+継続分)(続き)

研究種目	研究課題数			配分額 千円	1課題あたりの配分額	
	応募 件	採択 件	採択率 %		平均 千円	最高 千円
科学研究費						
挑戦的萌芽研究 *5	[16,541] 18,593	[7,735] 8,309	[46.8] 44.7	[9,476,700] 10,064,900 【 3,019,470 】	[1,225] 1,211	[3,100] 3,200
若手研究(S) *3	[50] 23	[47] 20	[94.0] 87.0	[540,100] 224,900 【 67,470 】	[11,491] 11,245	[19,000] 15,800
若手研究(A) *4	[2,646] 2,715	[1,244] 1,325	[47.0] 48.8	[6,921,164] 6,908,550 【 2,072,565 】	[5,564] 5,214	[19,700] 19,200
若手研究(B) *5	[30,211] 29,569	[15,557] 15,289	[51.5] 51.7	[17,942,303] 17,355,636 【 5,206,691 】	[1,153] 1,135	[3,400] 3,300
研究活動スタート支援 *1	[791] 831	[791] 831	[—] —	[830,155] 836,488 【 250,946 】	[1,050] 1,007	[1,500] 1,500
奨励研究	[3,796] 3,876	[707] 712	[18.6] 18.4	[349,900] 350,154	[495] 492	[800] 800
研究成果公開促進費 *6	[1,006] 1,082	[536] 488	[53.3] 45.1	[1,166,960] 1,108,000	[2,177] 2,270	[20,000] 16,400
合計	[131,330] 138,223	[68,497] 71,039	[52.2] 51.4	[156,179,852] 158,072,950 【 46,982,653 】	[2,280] 2,225	[159,200] 165,000

(注1) 本資料は、今年度採択された新規課題に既に採択されている継続課題を加え集計したもの。

(注2) []内は、前年度を示す。

(注3) 【 】内は、間接経費(外数)。

(注4) *1は、平成25年度の新規課題については審査中であるため、継続課題のみ計上。

(注5) *2は、平成25年度の新規領域については審査中であるため、継続領域の新規課題及び継続課題を計上。

(注6) *3は、平成25年度の新規募集なし。

(注7) *4のうち、新規課題は一部基金化研究種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には平成25年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注8) *5のうち、平成24年度及び平成25年度採択課題は基金化研究種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には平成25年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注9) *6は、「国際情報発信強化(A)」及び「オープンアクセス刊行支援」は審査中であるため、「研究成果公开发表」、「国際情報発信強化(B)」、「学術定期刊行物」、「学術図書」、「データベース」に対する配分額を計上。

(注10) 「新学術領域研究(研究領域提案型)」「生命科学系3分野支援活動」、「特別研究促進費」及び「特定奨励費」は除く。